

ソフトウェア駆動型社会への変革に向けた日本の競争戦略レポートを発表
～「人月ビジネスからの脱却」と「SDxによる新価値創造」を提言～

一般社団法人組込みシステム技術協会

2025年11月17日

一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)は本日、協会内に設置した「JASA改革プロジェクト」がとりまとめた新レポート「ソフトウェア駆動型社会への変革と日本の競争戦略」を発表いたしました。

本レポートは、AI技術の進化を背景に、日本の製造業および組込みソフトウェア業界が直面する構造的課題を分析し、国際競争力を再獲得するための具体的な戦略を提言するものです。

■背景：ソフトウェアが価値を創出する「コトづくり」への転換

製品価値の中心がハードウェアからソフトウェアへと移行し、ビジネスモデルが「モノづくり」から顧客体験を重視する「コトづくり」へと構造的に転換しています。製品出荷後も継続的に価値を提供するビジネスが世界標準となる中、この変革への迅速な対応が日本の製造業に求められています。

本レポートは、この歴史的転換点を乗り越え、新たな成長軌道を描くための羅針盤として発行されました。

■提言の概要：3つの構造的課題と解決策

本レポートは、日本の組込みソフトウェア業界が直面する3つの構造的課題を明らかにしています。

1. SDx時代の組込みソフトウェア開発：

従来のクローズドシステムから、迅速なアップデートが求められるオープンシステムへの移行。

2. 生成AI時代における開発パラダイムの適切な活用：

AI活用による生産性革命と、AIを安全に組み込むための新しい開発アプローチの確立。

3. ビジネスモデルの労働集約型からの転換：

労働時間で価値を測る「人月ビジネス」からの脱却と、価値創出パートナーへの進化。

これらの課題に対し、本レポートは以下の解決策を提示しています。

• 技術パラダイムへの対応(第1章・第2章)

SDxや生成AIといった技術動向を詳述し、業界が取り組むべき具体的な技術開発や新たなビジネスモデルの方向性を示します。

• ビジネスモデルの変革(第3章)

「人月ビジネス」からの脱却に向け、

① SDx時代に対応する共通プラットフォームの構築、および

② 単純な労務提供から専門知識を提供する「ナレッジ提供サービス」への転換

という2つの具体的な戦略を提言します。

■レポートの公開

「JASA レポート ソフトウェア駆動型社会への変革と日本の競争戦略」は、本日より JASA 公式ウェブサイトにて公開いたします。

ダイジェスト版 : https://www.jasa.or.jp/dl/report/JASAReport_Digest20251117.pdf

完全版 : https://www.jasa.or.jp/dl/report/JASAReport_Full20251117.pdf

※ 本レポートの全文につきましては、年内を目途に別途公開する予定です。

※ なお、本レポートの提言を踏まえ、当協会の具体的な行動指針となる「アクションプラン」につきましても、今後別途とりまとめ、発表する予定です。

■EdgeTech+2025 展示会(パシフィコ横浜)で講演

11月19日(月)16:00～ 基調講演

「AI 時代における、ソフトウェアが駆動する産業変革の最前線」にて、詳細内容を発表いたします。

■一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)について

組込みシステム技術における応用技術の調査研究、標準化の推進、普及及び啓発等を行うことにより、技術の高度化及び効率化を図り、日本の産業の健全な発展と国民生活の向上に寄与することを目的としています。企業、教育機関、研究機関などで構成され、技術革新や人材育成に取り組んでいます。

- ・ 名称 : 一般社団法人 組込みシステム技術協会
- ・ 所在地 : 東京都中央区入船 1-5-11 弘報ビル 5 階
- ・ 設立 : 1986 年 8 月 7 日
- ・ URL : <https://www.jasa.or.jp/>

■本プレスリリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人組込みシステム技術協会 事務局

TEL:03-6372-0211 Email:jasainfo@jasa.or.jp